



議題 2

報道機関 各位

記者発表資料

平成29年11月20日(月)

問い合わせ先:

うらわ美術館:松原、脇元

電話:827-3215

「ここが見どころ スポットライト!うらわ美術館」展が開幕しました
～子どもから大人まで 地域の美術館を より身近に!～

うらわ美術館では子どもから大人まで美術館に親しみ、地域とつながる作品に深く触れあえるよう工夫した展覧会を開催しています。収蔵品の中から、とびつき魅力的な70点を2部構成で紹介しています。

記

1 展示内容

第1部「浦和に集った画家たち」では、大正時代から浦和にアトリエを構えた画家たちを紹介します。昔の別所沼など地域を描いた作品や、筆致や色彩に画家の個性が光る作品が並びます。

第2部「本をめぐるアートの展開」では、本=書籍のイメージを超える、ユニークな本やオブジェを展示します。

2 鑑賞支援の取組

地域の美術館として、収蔵品を媒介に地域の人々の学習と交流をバックアップします。

- ①鑑賞サポートボランティア養成
- ②美術鑑賞学習を支援する「うらびいスクールサポートプログラム」
- ③土曜・ギャラリー・トーク
- ④見どころ解説パネル

- 3 会 期 平成29年11月18日(土)～平成30年1月14日(日)
午前10時～午後5時、土日のみ～午後8時
(入場は閉館30分前まで)
※休館日:月曜日(1月8日は開館)、1月9日
年末年始(12月27日～1月4日)

4 学芸員によるギャラリー・トーク

11月23日(祝)、1月8日(祝)
各回午後2時～

※自由参加・当日の観覧券が必要です。



5 土曜・ギャラリー・トーク

11月18日(土)、11月25日(土)、12月2日(土)、
12月9日(土)、12月16日(土)、12月23日(土)、
1月6日(土)、1月13日(土)の全8回
各回午後2時～

※鑑賞サポートボランティアが実施します。

※自由参加・当日の観覧券が必要です。

6 美術鑑賞学習

実施日	区名	学校名	学年	人数 (おおよそ)	活動時間
2017年11月18日(土)	中央区	鈴谷小学校	5年	86名	10:20～11:00
2017年11月22日(水)	緑区	野田小学校	5年	28名	10:20～11:00
2017年11月24日(金)	南区	辻小学校	5,6年	152名	10:20～11:00
2017年11月28日(火)	大宮区	上小小学校	5年	79名	10:20～11:00
2017年11月29日(水)	岩槻区	川通小学校	5,6年	48名	10:20～11:00
2017年11月30日(木)	北区	大砂土小学校	6年	209名	10:20～11:00
2017年12月7日(木)	桜区	大久保中学校	1年	108名	14:20～15:00
2017年12月8日(金)	浦和区	常盤小学校	5年	129名	10:20～11:00
2017年12月14日(木)	西区	指扇中学校	1年	137名	10:20～11:00
2018年1月11日(木)	見沼区	七里小学校	5年	61名	10:20～11:00

議題2
ここが見どころ
スポットライト！うらわ美術館 展

さいたま市教育委員会

ここが見どころ スポットライト！うらわ美術館 展



(参考) 展覧会ポスター

平成29年
11月18日(土)~
平成30年
1月14日(日)

 うらわ美術館
URAWA ART MUSEUM

子どもから大人まで

地元の美術館を

より身近に

楽しんでいただくための展覧会です！

うらわ美術館 2つの収集方針

「地域ゆかりの作家」

「本をめぐるアート」

もっと

地元の皆様に知っていただくきっかけに！

(参考)展示室風景

第1部

「浦和に集った画家たち」

地域ゆかりの油彩画など、
約40点を展示

浦和コルソ壁画の原画



高田誠《浦和田島ヶ原のさくら草》
制作年不詳

点描による最晩年の大作



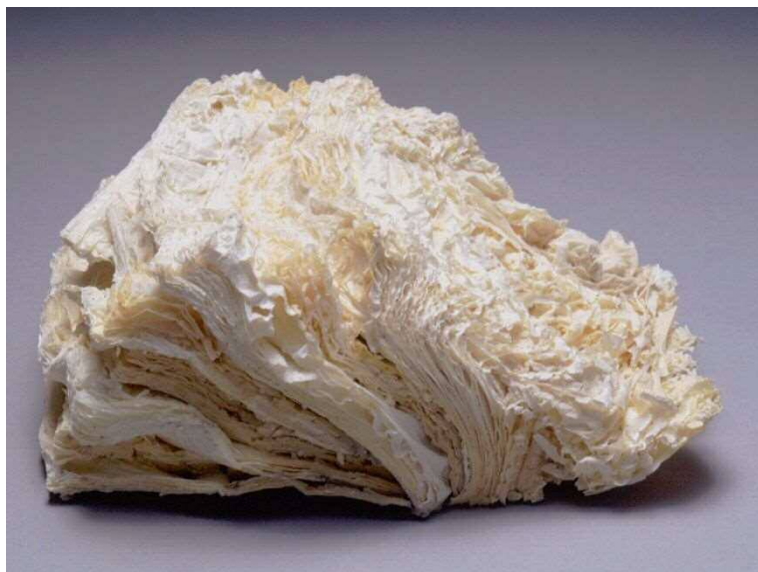
瑛九《ながれ—たそがれ》1959年

第2部

「本をめぐるアートの実験」

アーティストが制作した本、
約30点を展示

1000度以上で焼成された本



西村陽平《CQ ham radio》1997年

金属でできた革新的な本



トゥッリオ・ダルビゾラ《未来派の自由態の言葉 触覚的、熱的、嗅覚的》1934年

初めての試み

さまざまな鑑賞支援を用意しました。

1. 地域の人々と美術館を結ぶ
「鑑賞サポートボランティア養成」
2. 児童生徒の美術鑑賞学習を支援する
「うらびいスクールサポートプログラム」
3. 来館者と展覧会を近づける
「土曜・ギャラリー・トーク」
4. 鑑賞者と作品をつなげる
「見どころ解説パネル」

4つの鑑賞支援で美術館をより身近にします！

チャレンジングな取組！

支援
1

鑑賞サポートボランティア養成

支援
2

うらびい
スクールサポートプログラム

支援
3

土曜ギャラリー・トーク

支援
4

見どころ解説パネル

大人も



子どもも



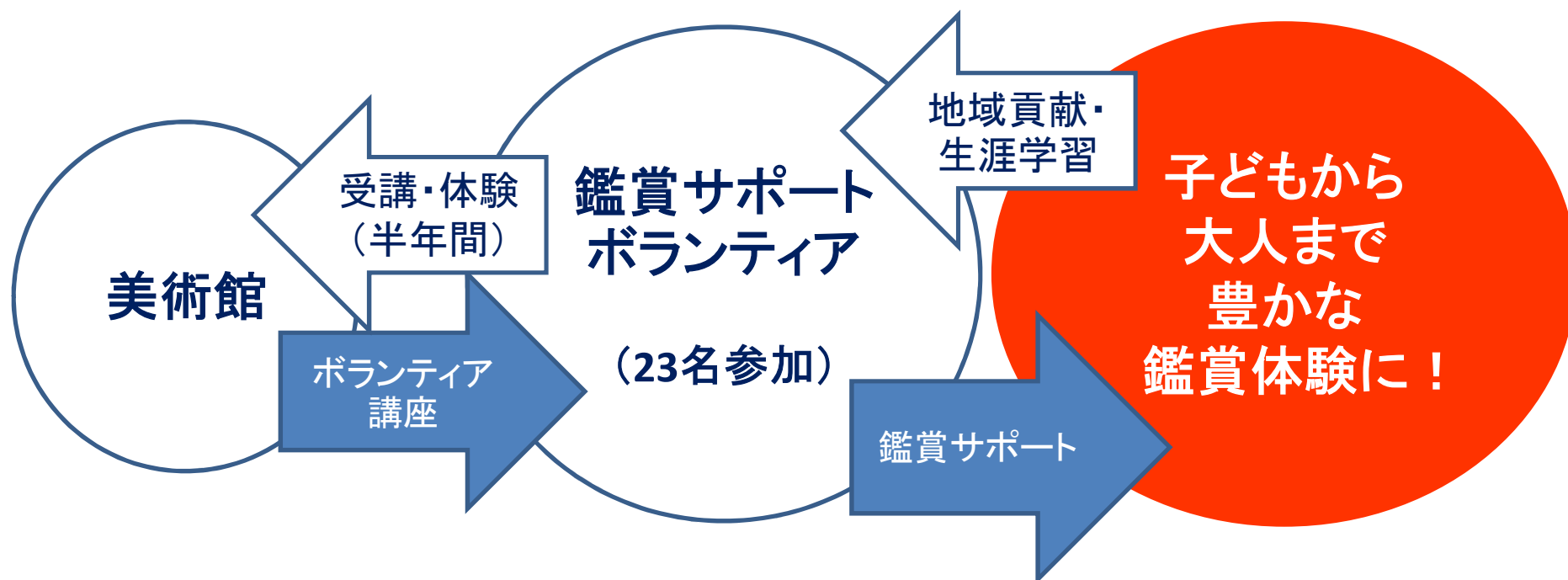
美術館を
より身近に！

支援
1

鑑賞サポートボランティアを養成します！



(参考)ボランティア養成講座風景



来館者の展覧会鑑賞体験を深めるサポートをします！

＜鑑賞サポート内容＞

- うらびいスクールサポートプログラムの実施(児童生徒向け)
- 土曜・ギャラリー・トークの実施(一般の来館者向け)

支援
2

うらびいスクールサポートプログラム
による美術鑑賞学習を実施します！



(参考)鑑賞学習風景

うらびい スクールサポートプログラム

- ・鑑賞サポートボランティアによる**鑑賞支援**
- ・貸切バスによる**送迎**
- ・埼玉**アートカード**掲載作品の展示
- ・振り返りや評価に使える**ワークシート**の配付

・作品との出会い
・芸術への興味関心
・アートの見方
・鑑賞マナー

鑑賞・体験
(市内10校)

子どもたちの
豊かな情操に！

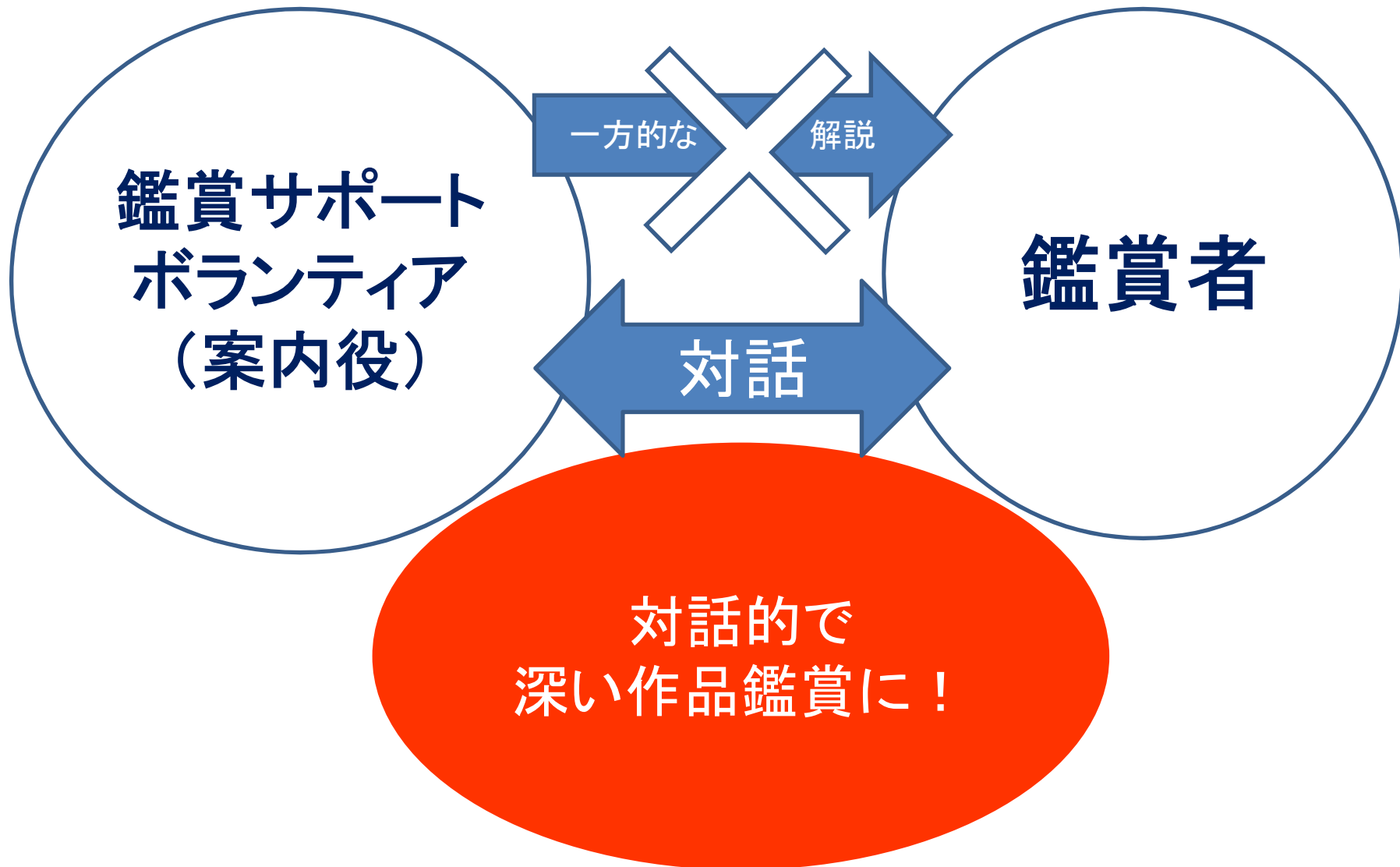
**子どもたちに 実際の作品に触れる機会を！
鑑賞マナーやアートの見方を！
芸術文化に対する興味・関心を！**

支援
3

毎週土曜日にギャラリー・トーク
を実施します！



(参考)ギャラリー・トーク風景





来館者と案内役が対話しながら一緒に
作品鑑賞を深めていきます！

支援
4

全作品に見どころ解説パネル を掲示します！



1-14
川村親光 《[郊外初秋]》
[1953]年 油彩、カンヴァス 91.0×116.0cm
平成27年度寄贈

 **ここが見どころ!** 

うらわ美術館で初公開、
修復によってよみがえった64年前の本太風景

この作品は、川村が書いたと思われる画歴メモ(大きさ、所蔵先)にある「浦和郊外の初秋の風景」であり、第9回日展に出品し初入選した《郊外初秋》と思われます。ここに描かれている建物は、さいたま市内の旧・大久保医院(本太1丁目)です。大久保氏が展覧会でこの作品を見て購入し、医院内に長く飾っていました。当館では、作家の晩年の作品2点と、1988(563)年制作の小品を所蔵していますが、それに比べ本作は、初々しく誠実な作品であると同時に、川村の穏やかで清爽感のある作風がすでに表れています。また、奇をてらうことなく素直に描いた本作は、当時の風景を知る地域資料としても貴重な作品です。当館で2015(H27)年度に収蔵した後、今年修復にかけ、今回当館ではじめて展示します。制作当時の美しさがよみがえった作品をご鑑賞ください。

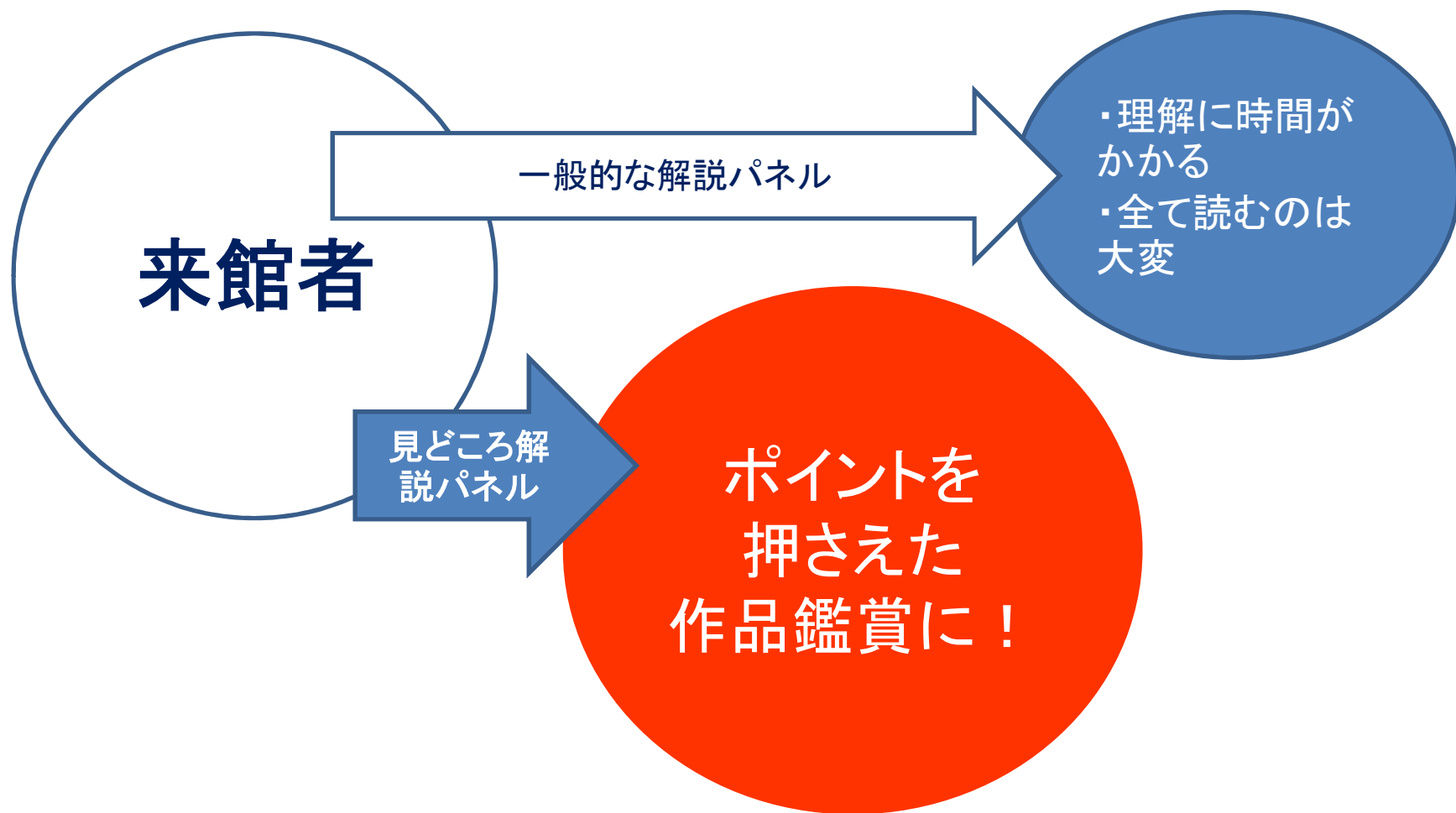
A3パネル
(美術館の解説パネル
としては大型)

 **ここが見どころ!** 

うらわ美術館で初公開、
修復によってよみがえった64年前の本太風景

見どころを分かりやすく
解説します！

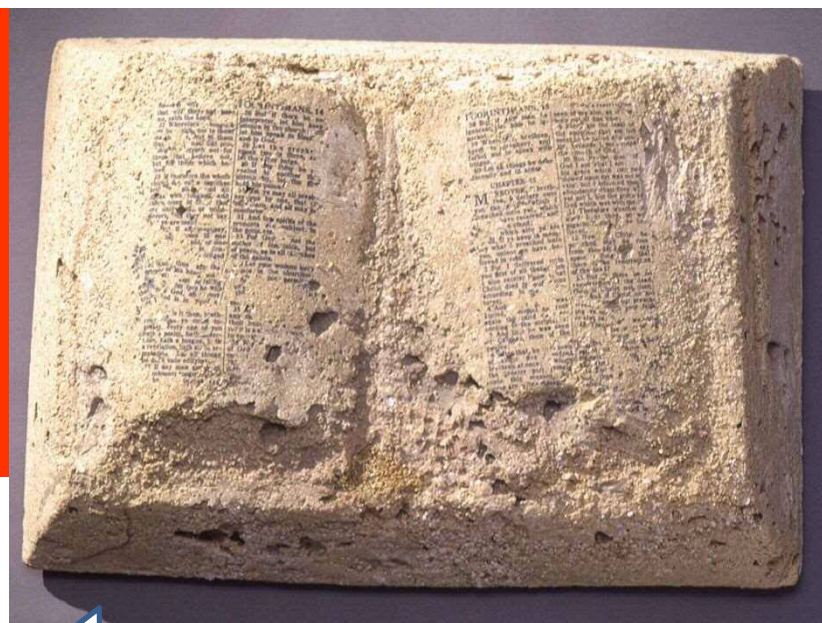
(参考)見どころ解説パネル



作家や作品のポイントを押さえながら
作品鑑賞をすることができます！

「わたしたちの街」の「わたしたちの美術館」に、スポットライトを当てた展覧会へ、ぜひお越しください。

大人から
子どもまで！



美術館を
より身近に！

荒木高子《砂の聖書》1996年

砂でできた本！？

議題2終了